

琉球大学医学部附属病院がんセンター
平成30年度がん患者等支援事業

がん情報及び地域がん医療説明会 「もしも小浜島でがんになったら」 に関する報告書

2018年10月5日



地域の療養情報「おきなわがんサポートハンドブック」の刊行に際し、本書の活用説明会を小浜島（竹富町）で実施した。小浜診療所の視察と所長の山田医師と小浜島の医療について協議した。活用説明会は、山田医師にも講演を依頼して実施。

■小浜診療所の視察と診療所医師との協議及び視察

日 時：平成30年10月5日（金）17:15～18:00

場 所：小浜診療所

出席者：県立八重山病院附属 小浜診療所 山田 拓 様

琉球大学医学部附属病院がんセンター センター長 増田 昌人

琉球大学医学部附属病院がんセンター 事務補佐員 東 啓子

■がん情報及び地域がん医療説明会「もしも小浜島でがんになったら」

日 時：平成30年10月5日（金）19:00～20:30

場 所：小浜公民館

参加人数：33人

内 容：(1) 講演「がん情報のさがし方勉強会in小浜島」

琉球大学医学部附属病院がんセンター長 増田 昌人

(2) 講演「小浜島でできるがん医療」

県立八重山病院附属小浜診療所長 山田 拓 先生

(3) 質疑応答

■個別相談

日 時：平成30年9月13日（木）20:30～20:45

場 所：小浜公民館

相 談 者：3組

国民の2人に1人はがんになる時代です。
いざというとき、自分の納得いくかたちで病
気と向きあうために、がん治療の現状も交え
ながらお話しします。
もしもに備えて考えてみませんか？
どなたでも、お気軽にご参加ください。



がん専門医が伝える
病院・診療所の上手なかかり方



もしも小浜島で がんになったら

竹富町のみなさまへ
がん診療の疑問や不安を解消する説明会を
小浜島で開催します。地元の診療所でどんな
治療ができるのか、がん情報がしのコツを、
専門家の立場からお話しします。
がんはすべての人にとって身近な病気です。
情報は“力”となり療養生活を支えます。
まずは「知る」ことから始めませんか。

琉球大学医学部附属病院 がんセンター長
増田 昌人

—がんサポートハンドブック・
—がん療養場所ガイドブック
活用説明会in小浜島—



(講演)

県立八重山病院附属
・小浜島でできるがん医療について 小浜診療所 山田 拓 先生
・病院のかかり方、情報の集め方 琉球大学医学部附属病院がんセンター長 増田 昌人
※終了後、医師による個別がん相談対応あり

日時:10月5日(金) 午後7時～8時(午後6時30分開場)
場所:小浜公民館
対 象:竹富町にお住まいのみなさん
参加費:無料
主 催:琉球大学医学部附属病院がんセンター 沖縄県がん患者等支援事業

内容に関するお問い合わせ:琉球大学医学部附属病院 がんセンター ☎ 098-895-3331(内線4358)

■広報手段

ポスター：役場・港・公民館などへ掲示

チ ラ シ：9月竹富町広報誌へ折り込み配布（約400世帯）

防災無線：実施数日前より放送、当日3回放送

がん情報のさがし方勉強会 in 小浜島

「おきなわがんサポートハンドブック」
「がん患者さんのための療養場所ガイド」

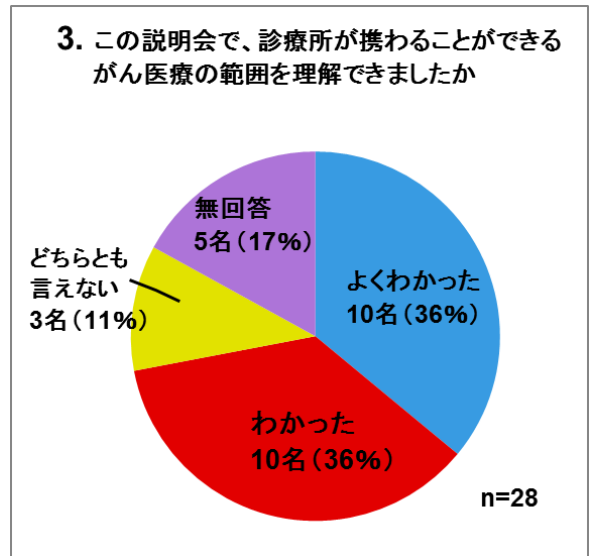
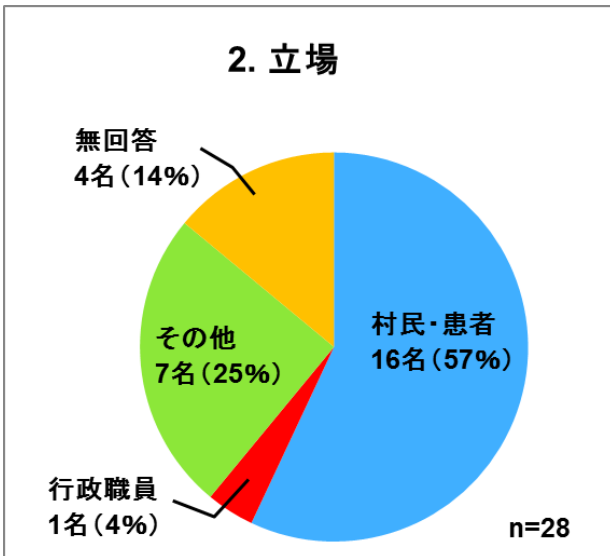
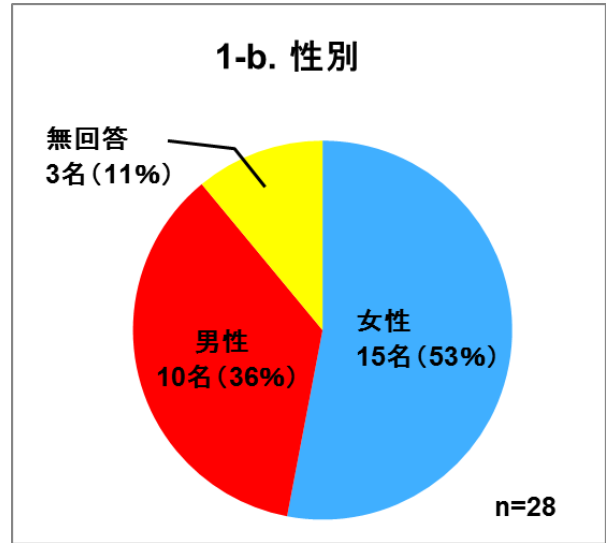
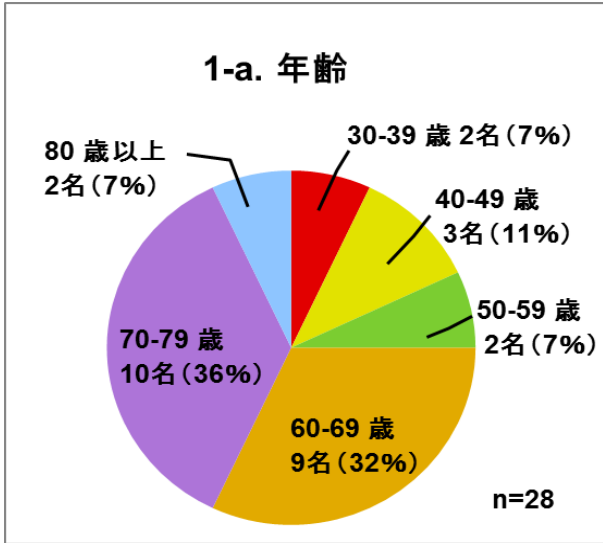
琉球大学医学部附属病院がんセンター
増田 昌人



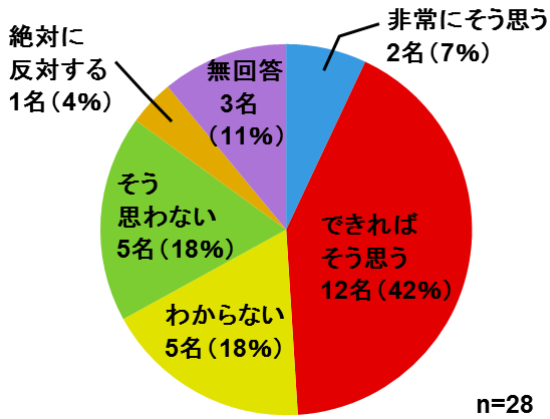


アンケート結果 1

参加者33人 アンケート回収28人 アンケート回答率84.8%



4. もし身内が、がんなどを患い自宅で最期を希望されるとき、自宅で看取りたいですか



5. 4の理由を教えてください。

本人の希望通りにしてあげたいから。

本人の意思を尊重したい為。

本人の希望だから。

すべてを自分だけでできるかどうか不安がある。

主人ががんの為、そうであるようにしたいと思っている。

本人の希望を聞いて家族と相談する。

本人の希望を聞いてあげたい。

本人がそう希望するなら、自宅で看取りたい。

本人の希望をかなえてあげれば良いと思います。(本人の希望を大切にしたい)ご家族との協力が大切かと思ひます。

症状次第によっては病院内での治療を余儀なくされる場合も考えなくてはならないが、可能な限り家族でギリギリまで過ごしたい。(させたい)

今まで、がんという病気は治らないと思っていました。

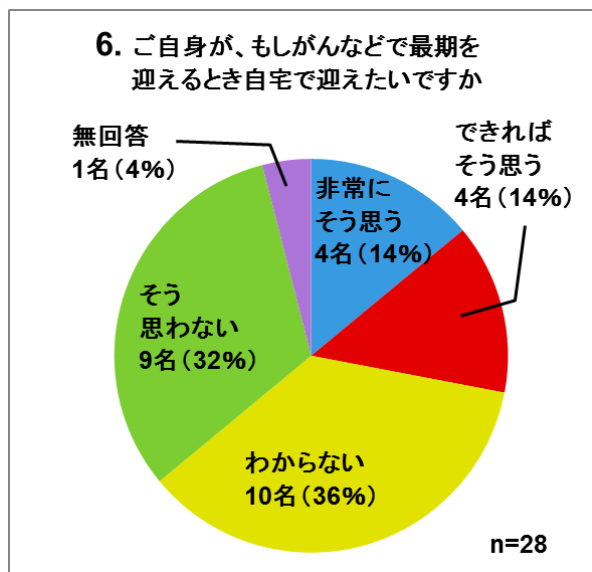
家族に迷惑をかけるから。

生れた場所、育った自宅で最後を迎えたい。

その時の状況による。

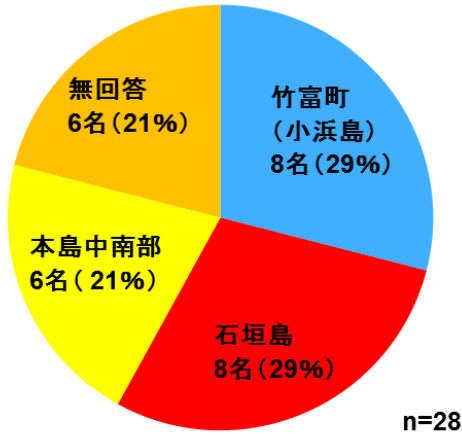
老々介護で自信がない。

本日の説明会に於いて前もって家族と話し合っ、最期を迎えること記入して置くことが大事と思ひた。

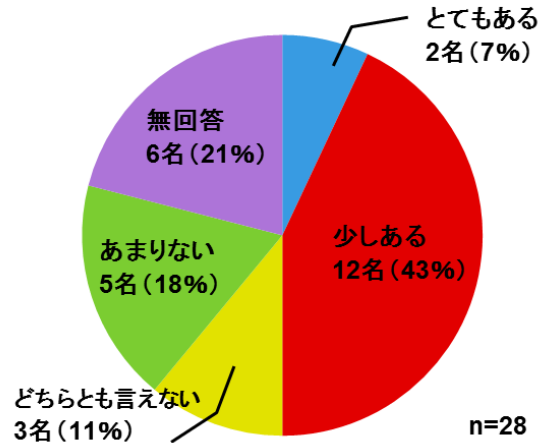


7. 6の理由を教えてください。
その時の生活環境を考えて決めたい。
やはり家族で過ごしたい為。
周りの状態によるから。
まだ想像することができない。
小浜がすきです。
家族に迷惑をかけたくない。
家族の意見を聞いてみないといけないのでわからない。負担を考えた時にどちらとも言えない。
出来れば家族に負担をかけたくない。
今、子供達をたよりにすることは全く考えておりません。なるべく世話にならずに、これから、夫婦で話し合うことが大切。しっかり話し合いたと思います。
上記の5の通りであるが、やはりきにするところは症状によっては家族にめいわくを考えると何とも言いがたい。
最後は自分の生れ島で迎えたい。
5の理由と同じ。(家族に迷惑をかけるから)
上記5(生まれた場所、育った自宅で最後を迎えたい)
決めかねる。
西原の琉大病院でハイを切って来ました。
不坦をかけたくない。
今のところまだ考えたことない。これから話し合いも子供達としたいと思います。

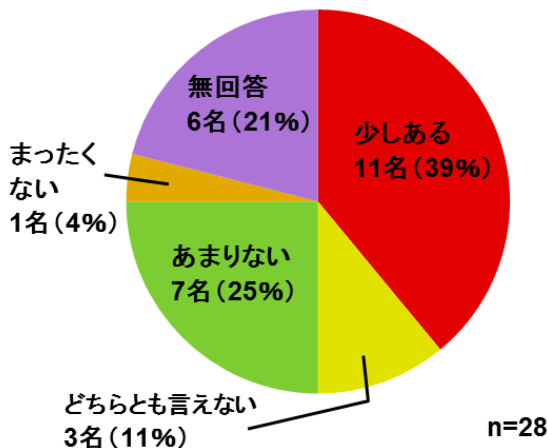
8. もしあなたががんになったら、
どこで治療したいと思いますか



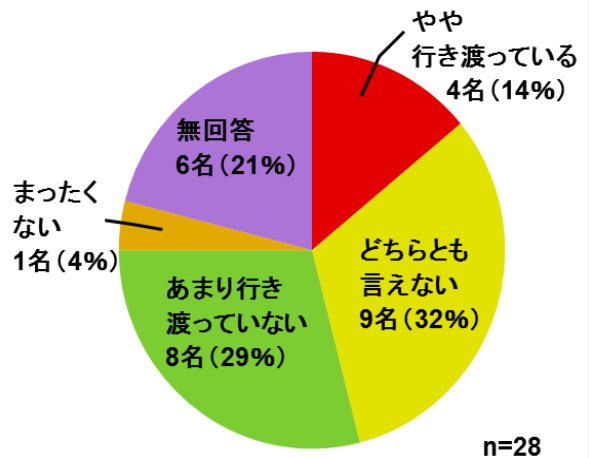
9. がんになったとき、竹富町(小浜島)
で治療することに不安はありますか



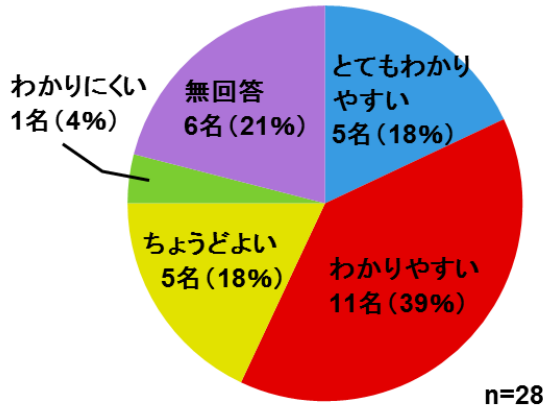
10. がんになったら、石垣市で治療する
ことに不安はありますか



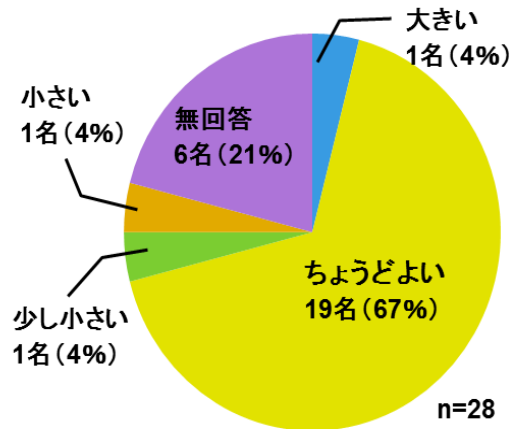
11. 竹富町(小浜島)では、がんの療養に
ついて十分な情報が行き渡っていますか



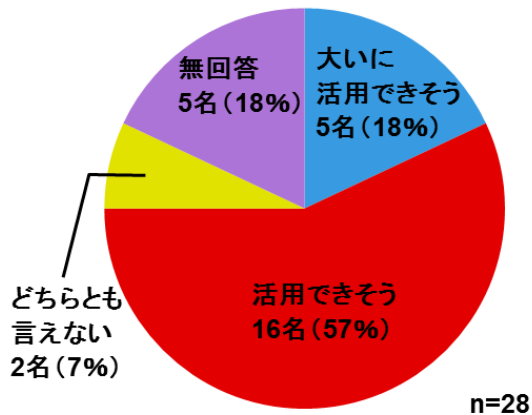
12. がんサポートハンドブックの内容についてどう思われますか



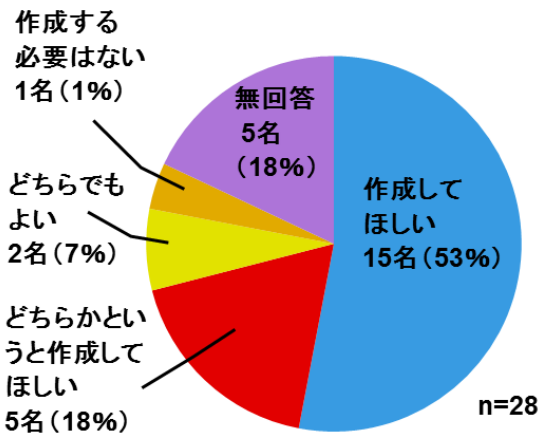
13. がんサポートハンドブックの文字の大きさ (フォントサイズ)についてどう思われますか



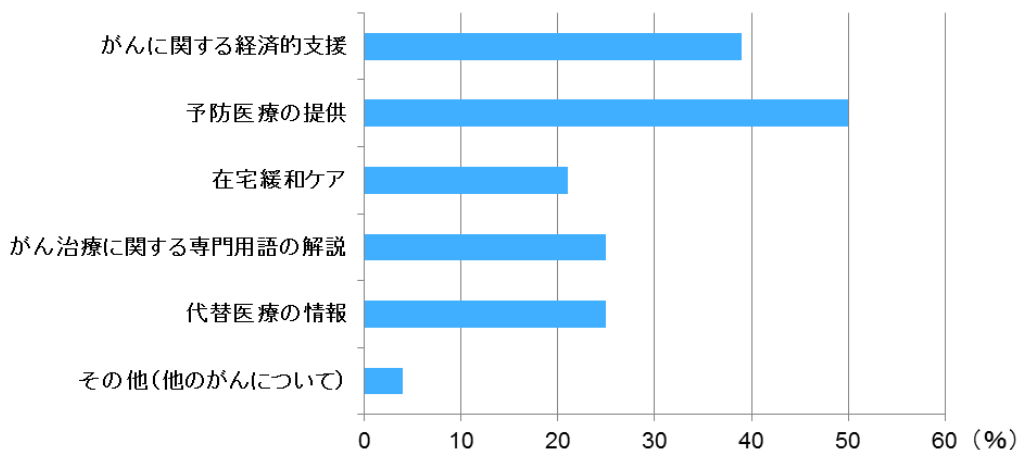
14. がんサポートハンドブックを活用できそうですか



15. この冊子を、今後も継続して作成してほしいと思いますか



16. がんサポートハンドブックに追加掲載を望む内容(複数回答可)



17. 説明会の感想や、病院への要望など何かあれば自由に記載してください。

一般市民に分かりやすい内容・言葉の説明で分かりやすかった。どんどん診療所を活用していきたいと思った。

非常に充実かつわかりやすい講演会でした。とるべきアクションが明確で良かったです。すごく勉強になりました。検診を受けようと思いました。

自分ががんになった場合はと考えさせられた説明会でした。ありがとうございました。ありがとうございました。

人間誰でもガンについては大きな不安もしくは関心は大きいものであり、今回の企画及び講演は多くの人で拝聴できれば。とても為になる時間でした。ありがとうございました。

この講演に参加し、今後小浜診療所を利用したい。ありがとうございました。

診療所の先生の仕事内容等が分かった。

特になし

ガンの講演を大変よかったです。少々知識をえることが出来ました。

大変理解しやすく、来て良かった。

とてもよかったです。

今日は大変に良かった。

ガンについて良く理解することが出来た。

■ 小浜診療所の視察と診療所 山田 拓 所長との面会



■ がん情報及び地域がん医療説明会

もしも小浜島（竹富町）でがんになったら

講演：「がん情報のさがし方勉強会 in 小浜島」

琉球大学医学部附属病院がんセンター長 増田 昌人



講演：「小浜島でできるがん医療」

小浜診療所長 山田 拓 先生



質疑応答



会場（小浜公民館）



八重山毎日新聞

9

2018年(平成30年) 10月 9日 (火曜日)

小浜島でがんになったら

講習会に
住民35人

医師2氏がアドバイス

沖縄県がん患者等支援事業「もしも小浜島でがんになったら」講習会が5日夜、小浜公民館で行われ、住民35人が参加した。

琉球大学医学部付属病院がんセンターの増田昌人氏

は「がん情報の探し方」として▽主治医から情報を得る▽セカンドオピニオンやがん支援センターを活用する▽ようアドバイス。

小浜診療所の山田拓氏は「小浜島でできるがん医

療」について、総合病院との連携や訪問診療など小浜島で実際にあった症例を紹介した。

参加者から「住民健診でがんが見つかり、改めて検診の大切さに気付かされた」との意見もあった。講演後に個人相談会もあった。

(小浜通信員)



「がん情報の探し方」についてアドバイスする琉球大学医学部付属病院がんセンターの増田昌人氏。5日夜、小浜公民館

市町長の日程

【中山石垣市長】

▽9日＝那覇へ出張中・

故翁長雄志前沖縄県知事県民葬（沖縄県立武道館）

【西大辨竹富町長】

▽9日＝那覇へ移動▽14

琉球大学医学部附属病院がんセンター
平成30年度がん患者等支援事業

がん情報及び地域がん医療説明会 「がん情報のさがし方と アピアランスケア」 に関する報告書

2018年10月6日



がん情報及び地域がん医療説明会 がん情報とアピアランスケアの必要性 概要

地域の療養情報「おきなわがんサポートハンドブック」の刊行に際し、本書の活用説明会を石垣市で実施した。がん相談できる島づくり「がんピアキャラバン」において、がん情報のさがし方に加えアピアランスケアについても講演を実施した。

八重山におけるがん医療の在り方について、石垣市長らと協議した。また、県立八重山病院長とも同様の協議をした。

■八重山医療圏におけるがん医療の在り方についての協議 (石垣市役所)

日 時：平成30年10月5日（金）14:15～14:40

場 所：石垣市役所

出席者：石垣市長 中山 義隆 様

石垣市 市民保健部 健康福祉センター 具志堅 智 様

琉球大学医学部附属病院がんセンター センター長 増田 昌人

琉球大学医学部附属病院がんセンター 事務補佐員 東 啓子

(県立八重山病院)

日 時：平成30年10月5日（金）15:00～15:20

場 所：県立八重山病院

出席者：県立八重山病院長 篠崎 祐子 様

琉球大学医学部附属病院がんセンター センター長 増田 昌人

琉球大学医学部附属病院がんセンター 事務補佐員 東 啓子

■講演会：がんピアキャラバンでの講演会「がん情報と外見ケアの必要性」

日 時：平成30年10月6日（土）13:00～13:30

場 所：石垣市立図書館

参加者：26名

■個別相談

日 時：平成30年10月6日（木）14:30～16:00

場 所：石垣市立図書館

相談者：1組

告知ツール（チラシ・ポスター）

平成30年度 沖縄県委託事業

がん相談できる島づくり
がんピアキャラバン

講演会
視聴覚室
13:00～14:30
テーマ **がん情報と
外見ケア(アピアランスケア)の必要性**
がんに対する情報とがん患者さんへ
気になる外見のお悩みについてなど
講演終了後、実演会もあります！

参加無料
10月6日(土)
石垣市立図書館

相談会
和・洋会議室
14:30～16:00
●医師による相談
●ピアサポート相談
ピアサポートとは、同じ体験を
した仲間が行う活動のことです。

パネル展
展示室
11:30～15:30
センターの活動内容などを
分かりやすく解説します。
お待ち帰りの冊子も
あります。

お気軽に
ご参加ください。

詳しくはウラを
ごらんください

主催 沖縄県地域統括相談支援センター
琉球大学医学部附属病院がんセンター
協力 資生堂ライフオリティビューティーセンター
沖縄県立八重山病院地域連携室
石垣市役所、石垣市立図書館
やいまゆんたく会、公益社団法人日本オストミ-
協会沖縄県支部（八重山地区）

がん相談できる島づくり
がんピアキャラバン

10月6日(土)
石垣市立図書館

講演会 13:00～14:30 (2F視聴覚室)

**がん情報と外見ケア
(アピアランスケア)の必要性**

参加無料
申込不要

13:00 講演①「がん情報のさがし方とアピアランスケア」
琉球大学医学部附属病院がんセンター長 増田 昌人

13:30 講演②「外見ケアセミナー」
資生堂ジャパン株式会社 板谷 さち 氏
コスメティクスブランド事業本部 九州・沖縄事業部 コスメティクス担任

肌の黒ずみやくすみ…
まゆ毛やまつ毛の脱毛… 外見の変化をメイクやウィッグで装いましょう！

14:00 各機関からのご案内

相談会 14:30～16:00 (2F和・洋会議室)

①医師による相談 (和会議室) 1室
②がんピアサポート相談 (洋会議室) 2室

第1回 14:30～15:00
第2回 15:00～15:30
第3回 15:30～16:00

相談無料
当日受付

相談は30分です。各3回9組様をお受けいたします。

【お問合せ】
沖縄県地域統括相談支援センター（琉球大学医学部附属病院内）
☎ 098-942-3407 <http://www.gansoudan-okinawa.jp>

※イベント主催：地域統括相談支援センター
琉球大学医学部附属病院がんセンター

当日スライド表紙

がん情報のさがし方と
アピアランスケアについて

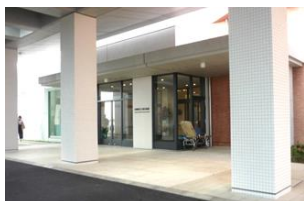
琉球大学医学部附属病院がんセンター
増田 昌人

■ 八重山医療圏におけるがん医療の在り方についての協議

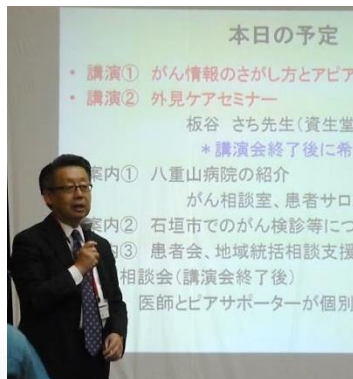
(石垣市役所) 中山 義隆 市長
具志堅 智 健康福祉センター所長



(八重山病院)
篠崎 祐子 院長



■ がん情報と外見ケア 講演会



本日の予定

- ・ 講演① がん情報のさがし方とアピア
 - ・ 講演② 外見ケアセミナー
板谷 さち先生(資生堂)
*講演会終了後に希
- 案内① 八重山病院の紹介
がん相談室、患者サロ
- 案内② 石垣市でのがん検診等につ
- 案内③ 患者会、地域統括相談支援
相談会(講演会終了後)
医師とピアサポーターが個別



琉球大学医学部附属病院がんセンター
平成30年度がん患者等支援事業

がん情報及び地域がん医療説明会 「もしも伊是名村で がんになったら」 に関する報告書

2018年11月2日

地域の療養情報「おきなわがんサポートハンドブック」の刊行に際し、本書の活用説明会を伊是名村で実施した。伊是名村におけるがん医療の在り方について、伊是名村長・担当課長らと協議した。また、伊是名診療所長とも同様の協議を行った。

■伊是名村におけるがん医療の在り方についての協議
(伊是名村役場)

日 時：平成30年11月2日(金) 14:00~14:40

場 所：伊是名村役場

出席者：伊是名村長 前田 政義様

伊是名村役場 住民福祉課長 諸見 美奈子様

伊是名村保健センター所長 西 美津子様

琉球大学医学部附属病院がんセンター センター長 増田 昌人

琉球大学医学部附属病院がんセンター 事務補佐員 東 啓子

(沖縄県立北部病院附属 伊是名診療所)

日 時：平成30年11月2日(金) 17:00~18:00

場 所：伊是名診療所

出席者：伊是名診療所長 平山 恭平様

伊是名診療所(県立北部病院研修医) 照屋 翔二郎様

琉球大学医学部附属病院がんセンター センター長 増田 昌人

琉球大学医学部附属病院がんセンター 事務補佐員 東 啓子

■がん情報及び地域がん医療説明会「もしも伊是名村でがんになったら」

日 時：平成30年11月2日(金) 19:00~20:30

場 所：伊是名村産業支援センター

参加人数：40人

内 容：(1) 講演「がん情報のさがし方勉強会 in 伊是名村」

琉球大学医学部附属病院がんセンター長 増田 昌人

(2) 講演「伊是名村でできるがん医療」

伊是名診療所長 平山 恭平先生

(3) 質疑応答

■個別相談

日 時：平成30年11月2日(金) 19:00~20:30

場 所：伊是名村産業支援センター

相 談 者：2組

国民の2人に1人はがんになる時代です。
いざというとき、自分の納得いくかたちで
病気と向きあうために、がん治療の現状も
交えながらお話しします。
もしもに備えて考えてみませんか？
どなたでも、お気軽にご参加ください。



がん専門医が伝える
病院・診療所の上手なかかり方



もしも伊是名村で がんになったら

—がんサポートハンドブック・
—がん療養場所ガイドブック
活用説明会in伊是名村—

伊是名村のみなさまへ
がん診療の疑問や不安を解消する説明会を
伊是名村で開催します。地元の診療所でど
んな治療ができるのか、がん情報さがしのコ
ツを、専門家の立場からお話しします。
がんはすべての人にとって身近な病気です。
情報は「力」となり療養生活を支えます。
まずは「知る」ことから始めませんか。

琉球大学医学部附属病院 がんセンター長
増田 昌人



（講演）

県立北部病院附属

- ・伊是名村でできるがん医療について 伊是名診療所 平山 恭平 先生
 - ・病院のかかり方、情報の集め方 琉球大学医学部附属病院がんセンター長 増田 昌人
- ※終了後、医師による個別がん相談対応あり

日 時：11月2日(金) 午後7時～8時(午後6時30分開場)

場 所：伊是名村産業支援センター 大ホール

対 象：伊是名村にお住まいのみなさん

参加費：無料

主 催：琉球大学医学部附属病院がんセンター 沖縄県がん患者等支援事業

内容に関するお問い合わせ：琉球大学医学部附属病院 がんセンター

☎ 098-895-3331(内線4358)

■広報手段

ポスター：役場・公共機関へ掲示

チ ラ シ：10月伊是名村広報誌へ折り込み配布（約700世帯）

防災無線：実施数日前より放送

がん情報のさがし方勉強会
in 伊是名村

「おきなわがんサポートハンドブック」
「がん患者さんのための療養場所ガイド」

琉球大学医学部附属病院がんセンター
増田 昌人

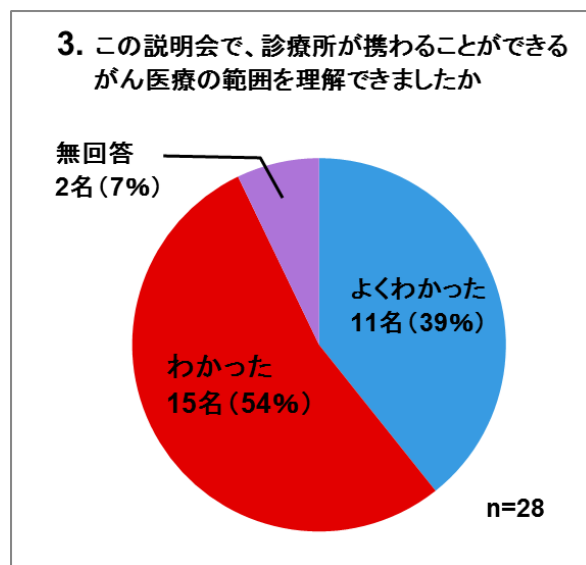
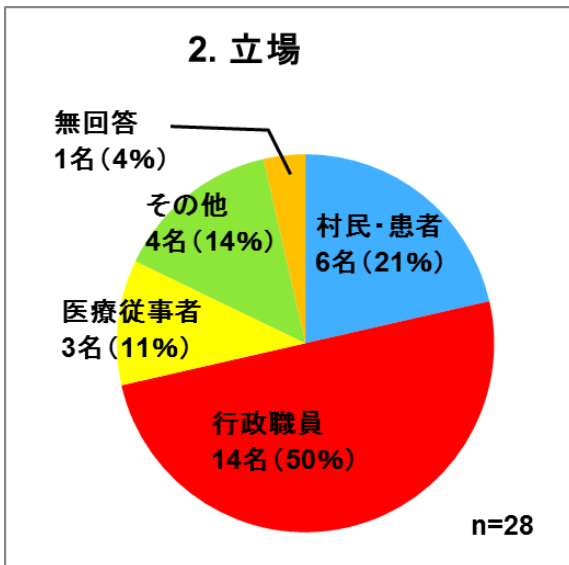
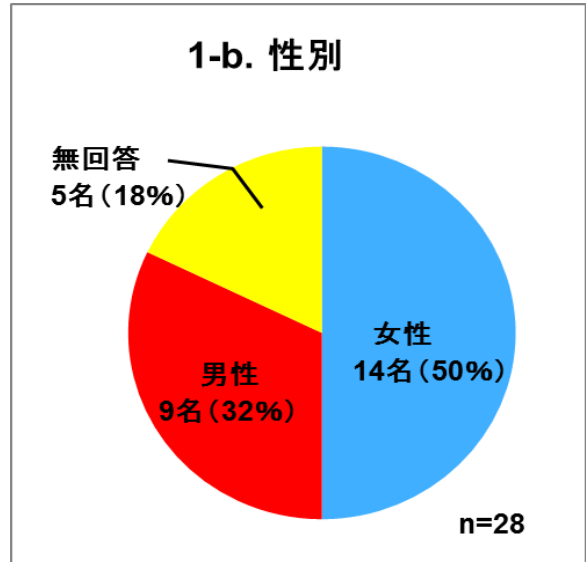
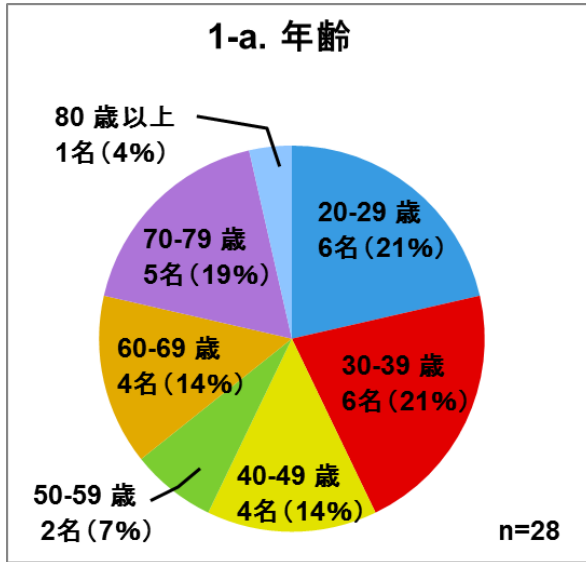
伊是名島でできる
がん医療

伊是名診療所
平山 恭平

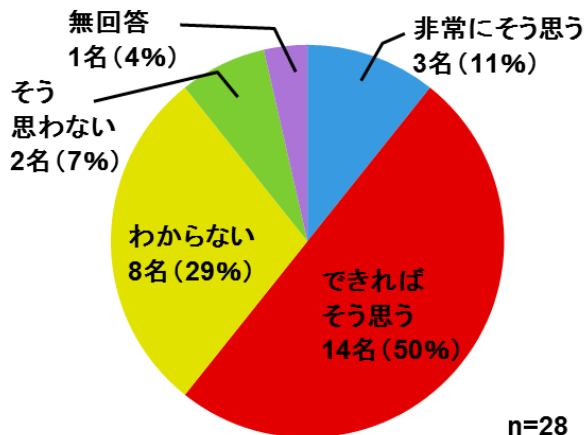


アンケート結果 1

参加者40人 アンケート回収28人 アンケート回答率70%



4. もし身内が、がんなどを患い自宅で最期を希望されるとき、自宅で看取りたいですか



5. 4の理由を教えてください。

できるだけ本人の意思を尊重したい。

看取った記憶がよぎって、住むことが辛くなる気がするから。

恐らく、自宅で亡くなりたと思う人が多いから。

本人の意思を尊重したいため。

最期を迎える時、病院でできることはないから。

労力、エネルギーが長期的に続く為 大変そう。

自宅で看取るという感覚がないので、想像がつかない。

本人の意思を尊重。

いっしょにすごしたいので。

おだやかにゆっくりと家で最期まで過ごしてもらいたいです。

本人の気持ちを考えるとそれを叶えてあげたいが、急変した時の対応等をおもうと現実的に悩むと思う。

介護ができるかどうか分からない。

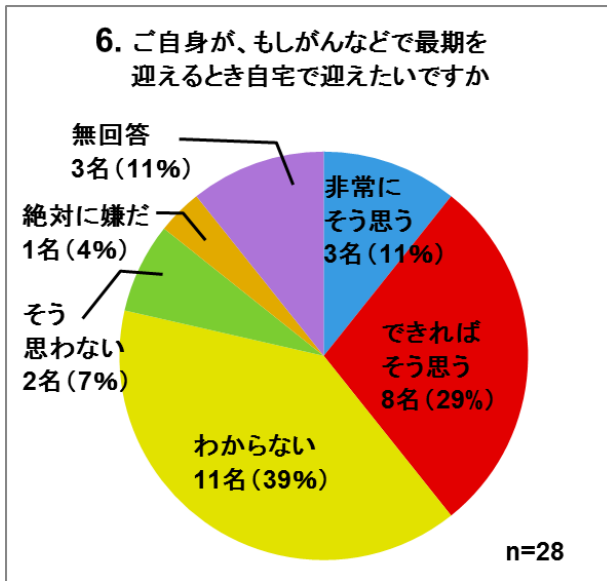
本人が希望すれば望みどおりしてあげたいが、ずっと傍にいて看病ができるか不安がある。

本人の希望を尊重したい。

妹が東京にいる。

経済的にも他の方法(場所)よりもよいし、親せきがいちどに集まれることや その後についても便利である。

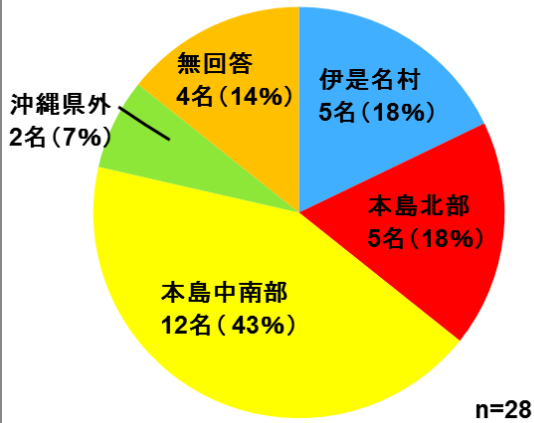
伊是名が自分の自たくだから。



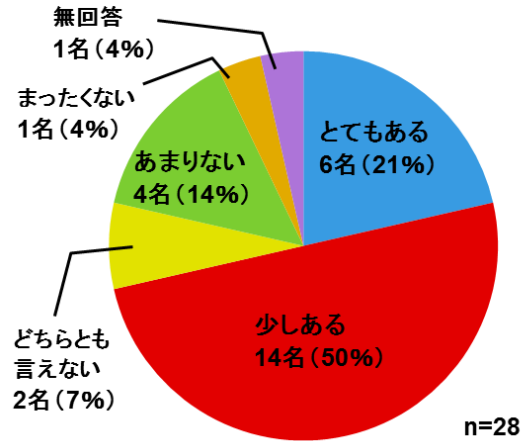
7. 6の理由を教えてください。

最期は家族と一緒にいたいですが、負担過大にはなりたくない気持ちもある。
逝くときは、慣れ親しんだ場所で穏やかにいたいから。
必要以上の治療は避けたい。
最期を迎える時、病院でできることはないから。
家族や周囲にめいわくをかけたくない。
慣れた所が一番だと思う。
やはり家族の側で、最後を迎えたい。
どこでもいいので。
その時の状態によって感じ方がかわりそう。
家族に負担をかけたくない。家にいると家族の事が心配になる。
残される家族を思うと自宅で最後を迎えるのはさげたい。
家族に負担をかけたくない。
家族に負担をかけたくないという気持ちが強い。
子供達は皆村外に居るので。
自分は皆がいる。
今は判断がしづらいです。
自分が愛して居るお家ですから。

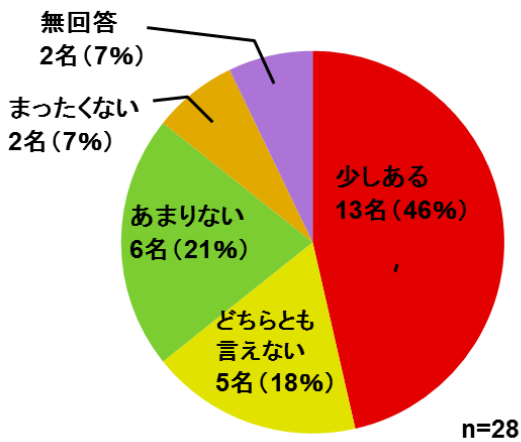
8. もしあなたががんになったら、どこで治療したいと思いますか



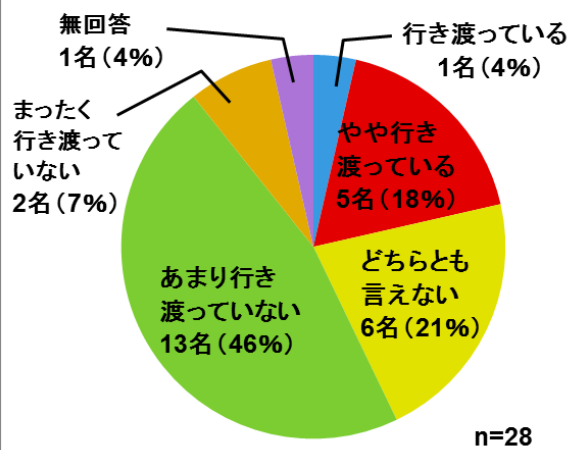
9. がんになったとき、伊是名村で治療することに不安はありますか



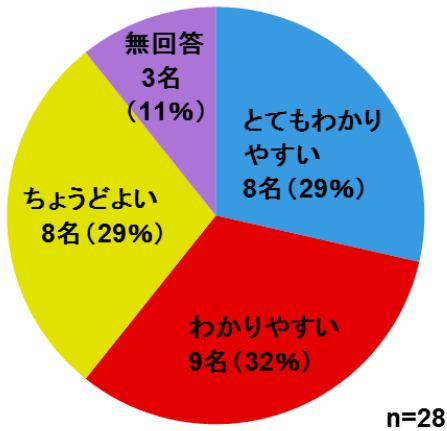
10. がんになったら、本島北部で治療することに不安はありますか



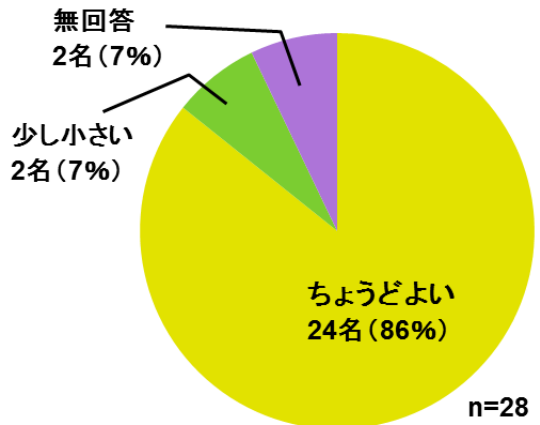
11. 伊是名村では、がんの療養について十分な情報が行き渡っていますか



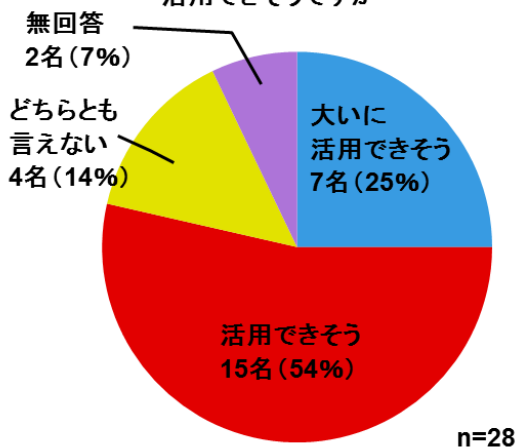
12. がんサポートハンドブックの内容についてどう思われますか



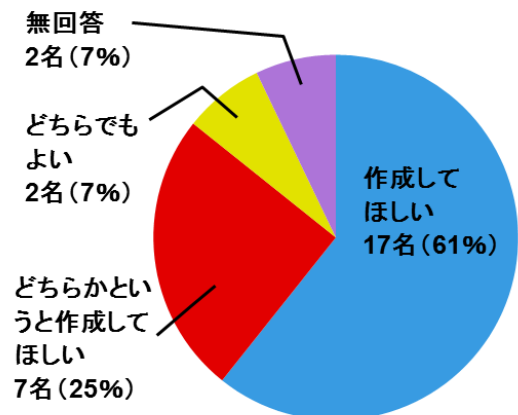
13. がんサポートハンドブックの文字の大きさ(フォントサイズ)についてどう思われますか



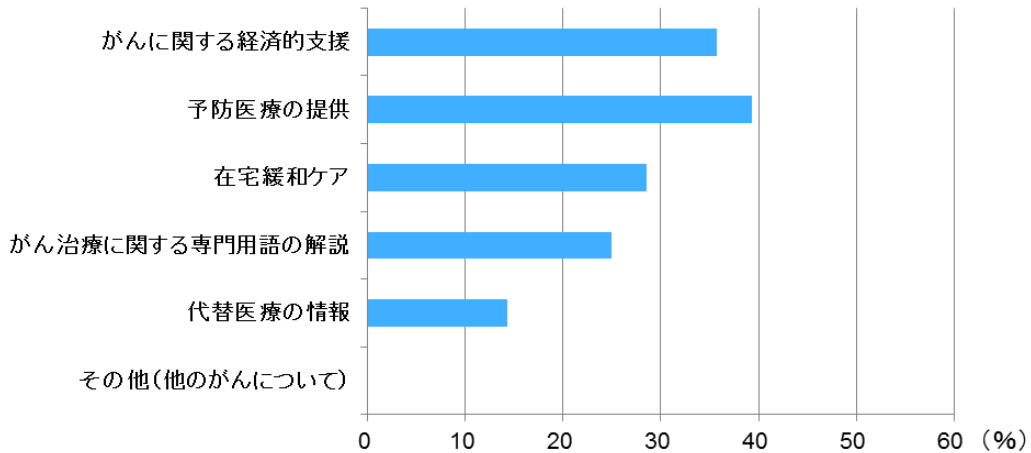
14. がんサポートハンドブックを活用できそうですか



15. この冊子を、今後も継続して作成してほしいと思いますか



16. がんサポートハンドブックに追加掲載を望む内容(複数回答可)



17. 説明会の感想や、病院への要望など何かあれば自由に記載してください。

①がん治療にかかる薬代や治療費は、月あるいは年でいくらぐらい掛かりますか。

②検診で発見される確率はどのくらいですか。

定期的に説明会を行っても良いと思う。

がんを招く生活習慣に関する講演をもっと行って、村民の生活を見直す機会を増やしてほしい。

とてもいねいに説明して頂き わかりやすかったです。

とても参考になりました。有難うございました。

とても参考になりました。有難うございました。聞きやすく、分かりやすい講演会でした。1年に1度はこのような講演会を行ってほしい。

すこし不安が軽減された。

はじめてガンに関する講話聞けて良かった。

「がん」以外にも伊是名村で多い病気等についても、今回のような説明会を行って欲しいです。

がんにならない方法を早くやってもらいたいです。

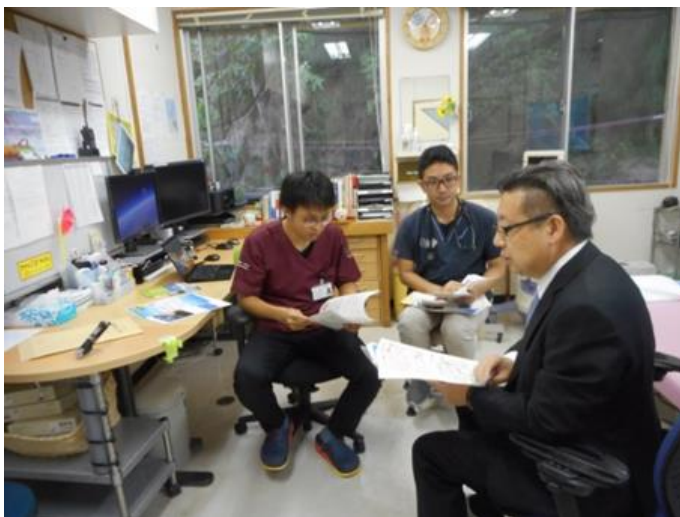
説明会は良かった つど要望します お願いします。

■ 伊是名村におけるがん医療の在り方についての協議

(伊是名村役場) 前田 政義 村長
諸見 美奈子 住民福祉課長
西 美津子 保健センター長



(伊是名診療所) 平山 恭平 先生
照屋 翔二郎 先生 (県立北部病院研修医)



■ がん情報及び地域がん医療説明会
もしも伊是名村でがんになったら

講演：「がん情報のさがし方勉強会 in伊是名村」

琉球大学医学部附属病院がんセンター長 増田 昌人



講演：「伊是名村でできるがん医療」

伊是名診療所長 平山 恭平 先生



閉会の挨拶：伊是名村役場
住民福祉課長 諸見 美奈子様

会場：
伊是名産業支援センター



琉球大学医学部附属病院がんセンター
平成30年度がん患者等支援事業

がん情報及び地域がん医療説明会 「もしも多良間村で がんになったら」 に関する報告書

2018年11月30日

地域の療養情報「おきなわがんサポートハンドブック」の刊行に際し、本書の活用説明会を多良間村で実施した。多良間村におけるがん医療の在り方について、多良間村長・担当課長らと協議した。また、多良間診療所長とも同様の協議を行った。

■多良間村におけるがん医療の在り方についての協議
(多良間村役場)

日 時：平成30年11月30日（金）11：00～12：00

場 所：多良間村役場 村長室

出席者：多良間村長 伊良皆 光夫 様

多良間村役場 住民福祉課長 佐和田 一八 様

多良間村 住民福祉課 保健師 前泊 勝人 様

琉球大学医学部附属病院がんセンターセンター長 増田 昌人

琉球大学医学部附属病院がんセンター医療ソーシャルワーカー 大久保 礼子

(沖縄宮古病院附属 多良間診療所)

日 時：平成30年11月30日（金）17：00～17：30

場 所：多良間診療所

出席者：多良間診療所長 杉山 佳史 様

多良間診療所 看護師 比嘉 千奈美 様

琉球大学医学部附属病院がんセンターセンター長 増田 昌人

琉球大学医学部附属病院がんセンター医療ソーシャルワーカー 大久保 礼子

■がん情報及び地域がん医療説明会「もしも多良間村でがんになったら」

日 時：平成30年11月2日（金）19：00～20：30

場 所：塩川集落センター

参加人数：41人

内 容：(1) 講演「がん情報のさがし方勉強会 in 多良間村」

琉球大学医学部附属病院がんセンターセンター長 増田 昌人

(2) 講演「多良間村でできるがん医療」

多良間診療所長 杉山 佳史 先生

(3) 質疑応答

■個別相談

日 時：平成30年11月30日（金）講演会終了後

場 所：塩川集落センター

相談者：なし

国民の2人に1人はがんになる時代です。
いざというとき、自分の納得いくかたちで
病気と向きあうために、がん治療の現状も
交えながらお話しします。
もしもに備えて考えてみませんか？
どなたでも、お気軽にご参加ください。



がん専門医が伝える
病院・診療所の上手なかかり方



もしも多良間村で がんになったら

—がんサポートハンドブック・
がん療養場所ガイドブック
活用説明会in多良間村—

多良間村のみなさまへ
がん診療の疑問や不安を解消する説明会を
多良間村で開催します。地元の診療所でど
んな治療ができるのか、がん情報がしのコ
ツを、専門家の立場からお話しします。
がんはすべての人にとって身近な病気です。
情報は“力”となり療養生活を支えます。
まずは「知る」ことから始めませんか。

琉球大学医学部附属病院 がんセンター長
増田 昌人



(講演)

県立宮古病院附属

- ・多良間村でできるがん医療について 多良間診療所 杉山 佳史 先生
 - ・病院のかかり方、情報の集め方 琉球大学医学部附属病院がんセンター長 増田 昌人
- ※終了後、医師による個別がん相談対応あり

日 時:11月30日(金) 午後7時～8時(午後6時30分開場)

場 所:塩川集落センター

対 象:多良間村にお住まいのみなさん

参加費:無料

主 催:琉球大学医学部附属病院がんセンター 沖縄県がん患者等支援事業

内容に関するお問い合わせ:琉球大学医学部附属病院 がんセンター

☎ 098-895-3331(内線4358)

■広報手段

- ポスター : 役場・公共機関へ掲示
- チ ラ シ : 多良間村全世帯へ配布 (約440世帯)
- 行政無線 : 実施数日前より放送

がん情報のさがし方勉強会
in 多良間村

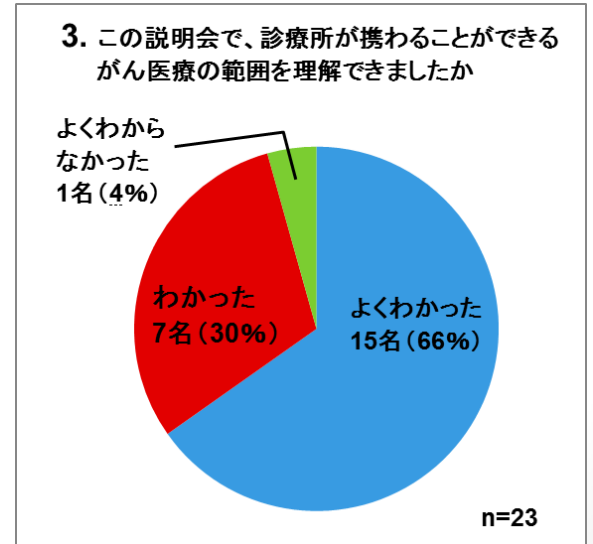
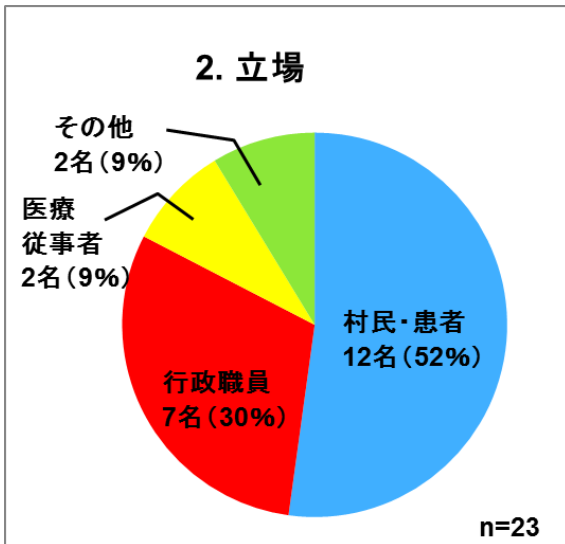
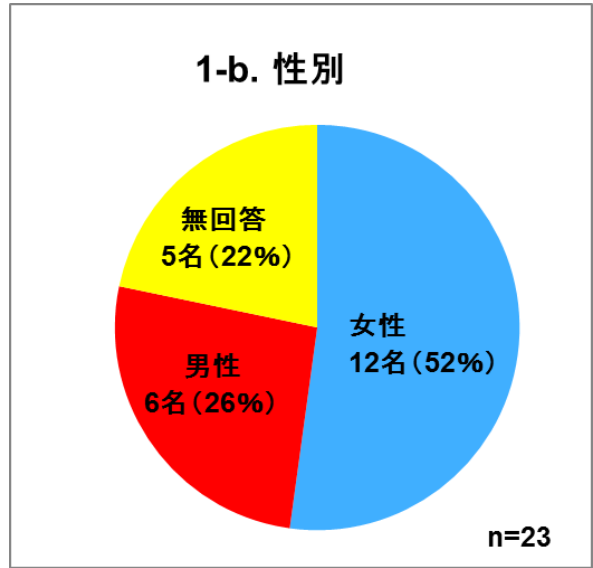
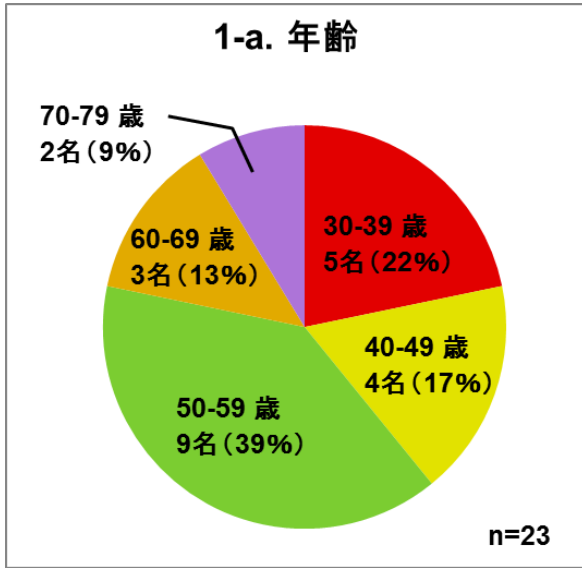
「おきなわがんサポートハンドブック」
「がん患者さんのための療養場所ガイド」

琉球大学医学部附属病院がんセンター
増田 昌人

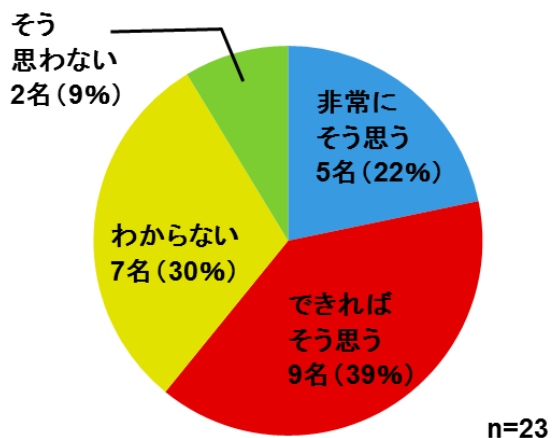




参加者41人 アンケート回収23人 アンケート回答率56.1%



4. もし身内が、がんなどを患い自宅で最期を希望されるとき、自宅で看取りたいですか



5. 4の理由を教えてください。

本人の気持ちと家族の気持ちの折り合いがどうなのか想像できないから。

苦しみをあたえたくないのので、自宅ではなく、病院で看取りたい。

日に日に弱っていく姿に、自分自身がたえられないと思う。

本人の考え方を一番に尊重したい。

まだわかりません。

家族と過ごした家で家族と最後を迎えた方が幸せだと思うから。

自宅のほうが安心できると思うので。

本人の希望をできるだけきいてあげたい。

後悔なく最期までみたい。お金がないので個室料金払えない。眠るように人間らしく最期をむかえたい。

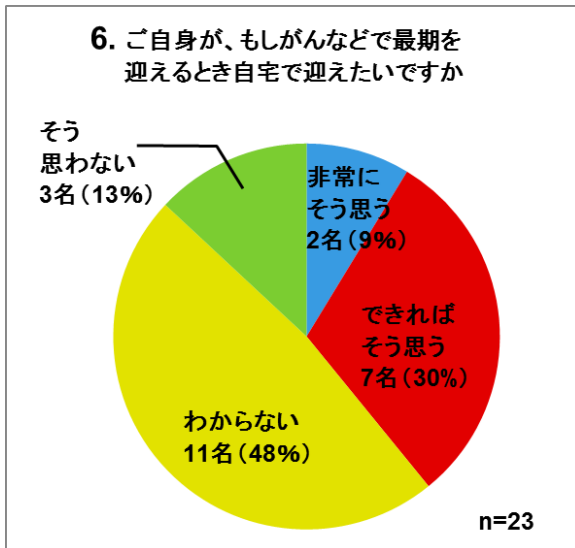
本人も周りの家族も精神的に楽だと思うから。

遠隔地で、実際に自分に何ができるのかその時でないと考えられない。

できれば自分も家で自分の部屋で最期を迎えたいと思うから。

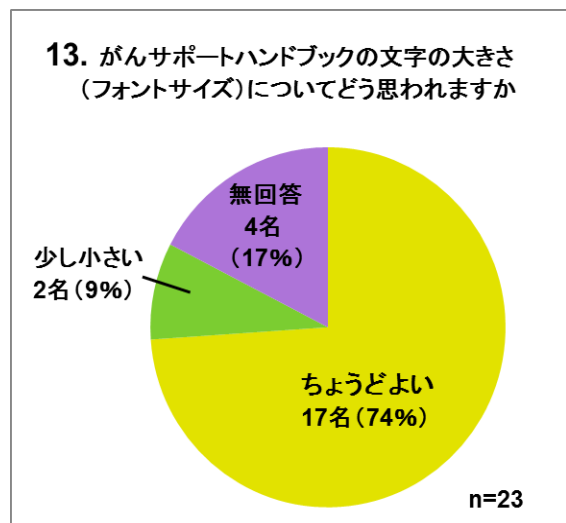
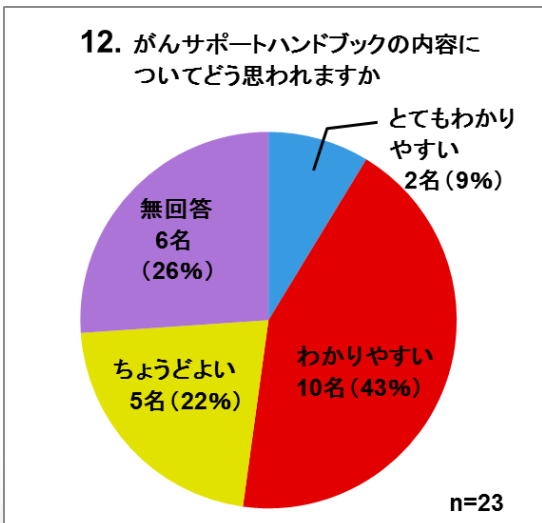
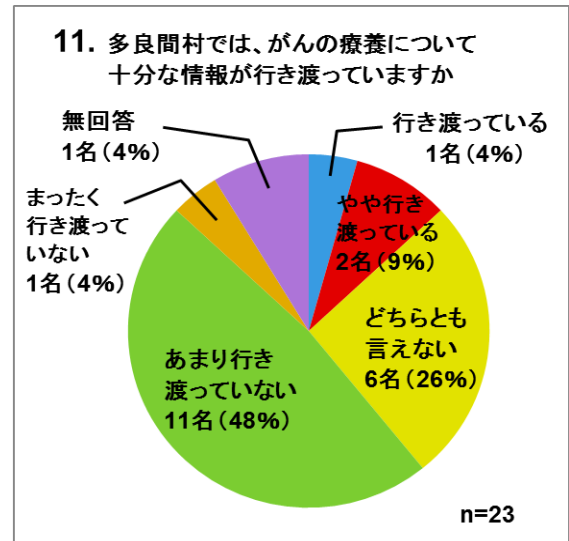
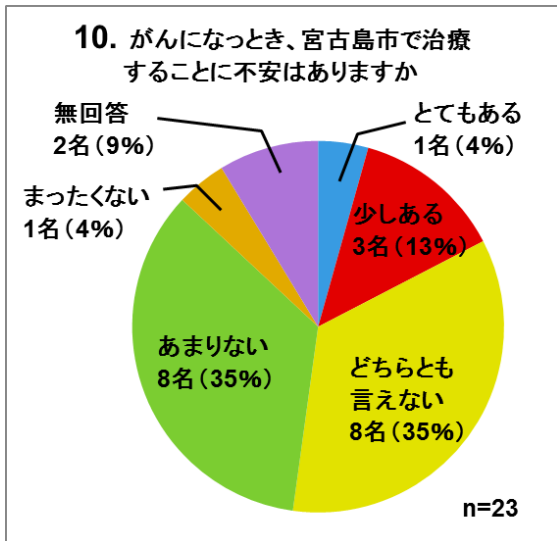
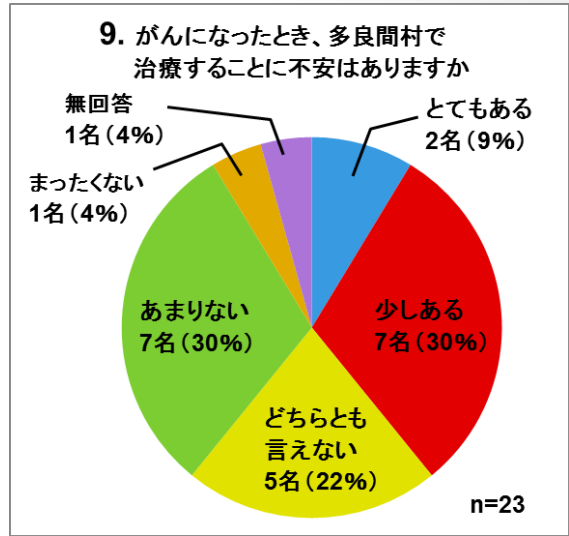
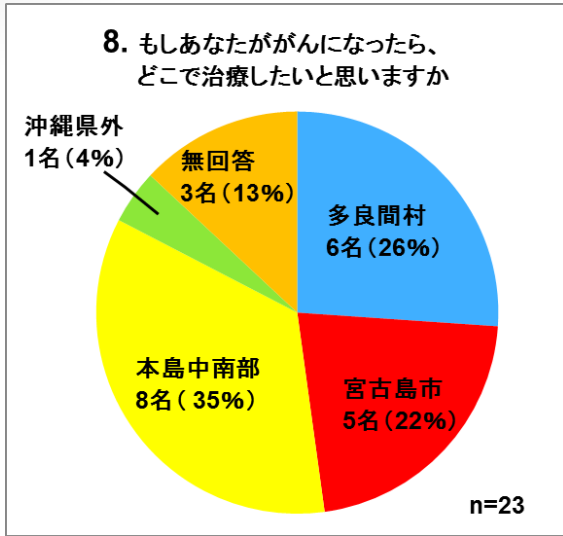
ひとり者だから。

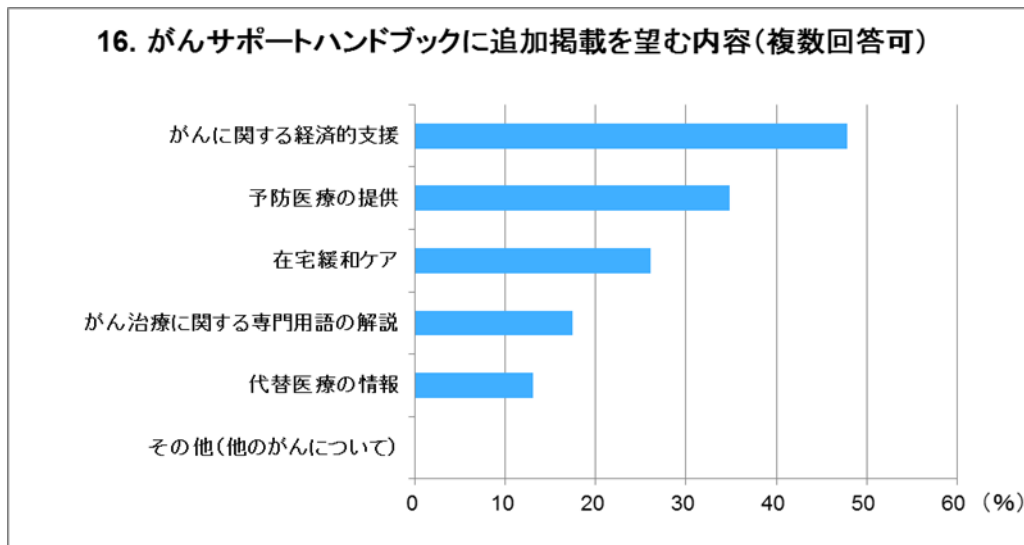
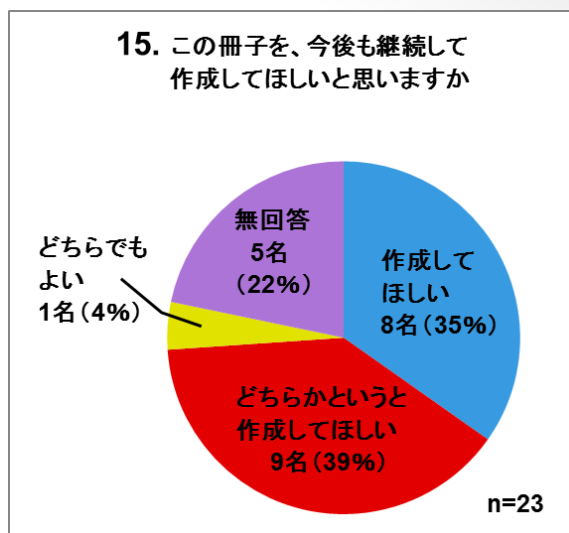
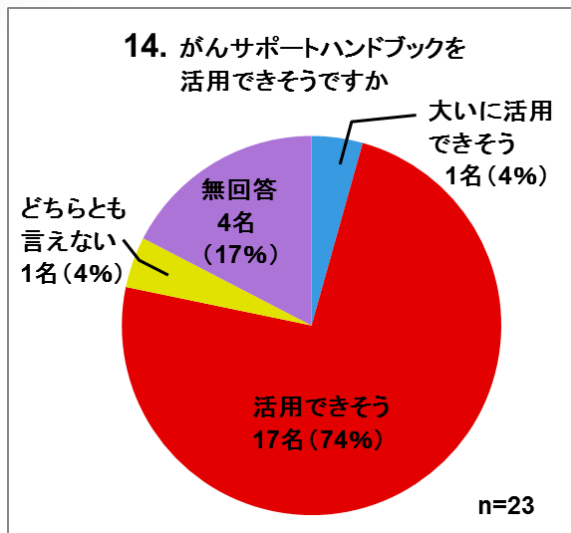
本人も高齢者だから。



7. 6の理由を教えてください。

家族に負担をおわせたくない。(介護として)
私の強い希望であったとしても、家族に負担をかけそうだから。
家族の状況なども考えて決めたい。
まだ想像が付きません。
自分の思いとうらはらに家族に迷惑をかけたら嫌だから。
安心できると思うので。
子供達に面倒かけたくないと思う。
ケン体を希望すると、多良間にはカゾ本島中南部場が無いので島での最期は望みません。
病院に入院していたら自由がきかない。自分らしい生活が送れない。
その時の状況によると思います。
落ち着いて自分の死を受け入れられると思うから。
ひとり者だから。
住み慣れた所が良い。





17. 説明会の感想や、病院への要望など何かあれば自由に記載してください。

テレビ等の影響で病院に対する偏見(昭和的な考え)であやまった知識を持っていたなと深く反省しました。正しい知識をしっかりと確認でき、参加してよかったと心底思いました。ありがとうございました。

とても分かりやすかった。早期発見することで生存率が高くなると分かった。何かあればまず診療所に行くこと。

離島からの受診費のほかに渡航費やホテル代・タクシー代な色々な負担がかかってしまいます。その為検査予約などあまり負担かからないようご配慮よしてもらいたいです。

診療所の機能、役割がよくわかった。安心できた。特に早期発見と緩和ケ多良間村。

参加して良かった。おつかれ様でした。

■伊是名村におけるがん医療の在り方についての協議

(多良間村役場)

伊良皆 光夫 村長
佐和田 一八 住民福祉 課長
前泊 勝人 住民福祉課 保健師



■がん情報及び地域がん医療説明会

もしも伊是名村でがんになったら

講演：「がん情報のさがし方勉強会 in 多良間村」

琉球大学医学部附属病院がんセンター長 増田 昌人



講演：「多良間村でできるがん医療」

多良間診療所長 杉山 佳史 先生



がん情報の探し方学ぶ

琉大医師招き講演会

多良間

【多良間】「もしも多良間村でがんになったら」と題した講演会が11月30日、多良間村塩川集落センターで開かれた。琉球大学医学部付属病院がんセンター長の増田昌人さんが講師を務め、がんについて正しい知識を伝えた。多くの村民・関係者らが集まり、講話に耳を傾けた。

増田さんは▽がんに対する情報をどこで得るか▽がんにあったら「がんサポートハンドブック」を活用する▽がんの診断や治療をどの医療機関で受けたらよいかーなどの説明を行った。



がんについて講演する講師の増田昌人さん
＝11月30日、多良間村塩川集落センター

受けること、診療所で県立宮古病院や宮古島徳洲会病院を紹介してもらうことを伝えた。

また、普段から自分自身

がどのような医療を望むのか、人生の最期はどのような迎えたいかを考え、家族や大切な人に相談し、理解を得ておくこと。文章に残

して日付と署名押印することを勧めた。

多良間診療所の杉山佳史医師は「多良間村でできるがん医療について」をテーマに講話。診療所定期受診、住民健診、婦人科検診、がん検診、検査・診察、緩和ケアができることを説明し、「それぞれの得意分野を生かして連携を取ることが大事」と述べた。

また、多良間村には高額療養費制度などの制度、多良間村からの航空運賃の助成制度もあることを紹介した。

がん情報提供資料の作成について

地域の療養情報 おきなわがんサポートハンドブック 2019 年版

第9版目となる2019年版おきなわがんサポートハンドブックは「がんと診断されたときからの行動支援」をコンセプトに、改訂を行う。

発行部数：25,000部

配布対象者：がん患者さん及びその家族

配布開始日：平成31年4月1日

配布先：沖縄県内医療機関、患者会、市町村役場、公共機関（図書館など）

<2018年版からの主な変更点>

○早いタイミングでの本誌活用に配慮して巻頭に情報案内

- ・告知後から知ってほしい情報をひと目で確認できるように、巻頭綴じ込みで概要版を掲載。「すぐに役立つヒント&リスト」など、本書への案内もある誌面づくり。
- ・様々な情報があふれる中、正しいがん情報の案内を巻頭見開きで、書籍とネットを案内。
- ・治療開始前に役立つ情報として、各治療法や妊娠の可能性（妊孕性温存）を追記掲載。
- ・医療機関一覧をがん種毎の診療施設に細分化して掲載。診療に直結する情報に重きを置き、適切な病院にたどり着くことを後押し。

○医師から情報提供しやすい内容を追加

- ・治療方法などのコンテンツを新たに掲載。【免疫療法】【ゲノム医療】など最新の治療の現状も掲載。医師が説明とともに患者へ手渡すことを促進。

○その人らしい生き方をするための自主性の推奨

- ・今後の治療や療養について、あらかじめ家族や医療者を話し合い、自分の意思・価値観の情報を共有しておくことで、その人らしい生き方を実現することを目標にする【アドバンス・ケア・プランニング】を新規掲載。
- ・読者に向けて、ご自分からも医療者と積極的にコミュニケーションをとることを提案。

○生活者としての患者に役立つ情報の充実

- ・がん治療は、長く向き合って生活する現状であることから、【医療費の負担を減らしたい】、【治療を続けながら働く】、【自分らしく毎日を過ごす】など、生活に役立つ情報を掲載。

○使いやすく編集

- ・治療の過程を図表（ライフコース）でわかりやすく説明。
- ・探したい情報が目に留まりやすいように、項目名を横付箋へ記載。
- ・やさしい色使いながらも、色合いを変えて見やすく。

日時	主な動き/ 担当者	内容
6月	がんセンター	ワーキングメンバー決定
7月31日 (先発Mtg. 7月25日)	作業部会(内容検討) □全員	1. センター長あいさつ 2. WGメンバー紹介 3. 制作スケジュール(案)について 4. 2019年度版のコンセプトと方向性について 5. 改定内容の検討・意見交換 6. 各コンテンツについて分担を決める
8月	編集者打ち合わせ① □がんセンター	
8月	原稿修正・執筆① □担当者	分担コンテンツ作成、原稿内容の見直し修正
9月中旬	進捗確認 □がんセンター → □担当者 □全員(随時メーリング)	1. 各原稿内容の見直し(各担当より原稿提出) 2. 全体コンテンツの量と並びの検討(取捨選択)
9月中	テキスト原稿修正・執筆② □担当者	分担コンテンツ作成、原稿内容の見直し修正
10月2日	作業部会(内容検討) □全員	全体での原稿内容の見直し修正
10月上旬	テキスト原稿修正・執筆② □担当者	分担コンテンツ作成、原稿内容の見直し修正
10月上旬	テキスト原稿提出 □担当者 → □がんセンター □がんセンター → □全員(回覧)	各コンテンツ原稿の見直し
10月中旬	編集者打ち合わせ② □がんセンター	ページ割りを提示
10月末日	テキスト原稿締切 □担当者 → □がんセンター □がんセンター → □全員(回覧)	原稿締切
11月	テキスト原稿最終チェック □がんセンター	原稿最終チェック
12月上旬	テキスト原稿提出 □がんセンター → □編集者	編集者へ、原稿の提出
1月23日	初稿チェック □がんセンター □全員(随時メーリング)	初稿・レイアウト等のチェック 初稿～色校まで、詳細チェック
2月上～ 3月中旬	校了・印刷 □がんセンター □全員(随時メーリング)	初稿～色校まで、詳細チェック
3月下旬	発送 □業者	県のリストに基づき、関係施設へ H30/3/29までに発送
3月	報告書作成 □がんセンター	事業実績書作成